

名古屋大学 予防早期医療創成センター 第14回研究会

<http://www.pme.coe.nagoya-u.ac.jp>

10月17日(木) 名古屋大学 鶴舞キャンパス 基礎研究棟4階 第4講義室

15:00 ~15:10	挨拶	名古屋大学 予防早期医療創成センター長 副総長・産学官連携推進本部長	松尾 清一 (まつお せいいち)
15:10 ~15:55	講演1	モデル動物を用いた2型糖尿病の遺伝因子と食事因子の解析 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用分子生命科学専攻 動物栄養情報学研究分野 教授	堀尾文彦 (ほりお ふみひこ)
15:55 ~16:40	講演2	遺伝子導入ニワトリ ~ 工学部におけるバイオテクノロジー 名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻 生物機能工学分野 教授	飯島 信司 (いいじま しんじ)
16:40 ~17:25	講演3	国による創薬支援体制構築と 「日本版NIH」に関する検討状況 厚生労働省 大臣官房厚生科学課 研究企画官	中山 智紀氏 (なかやま ともり)
17:40 ~18:40		意見交換会 (於鶴友会館1階レストラン鶴友 会費2,000円 どなたでもご参加頂けます。)	

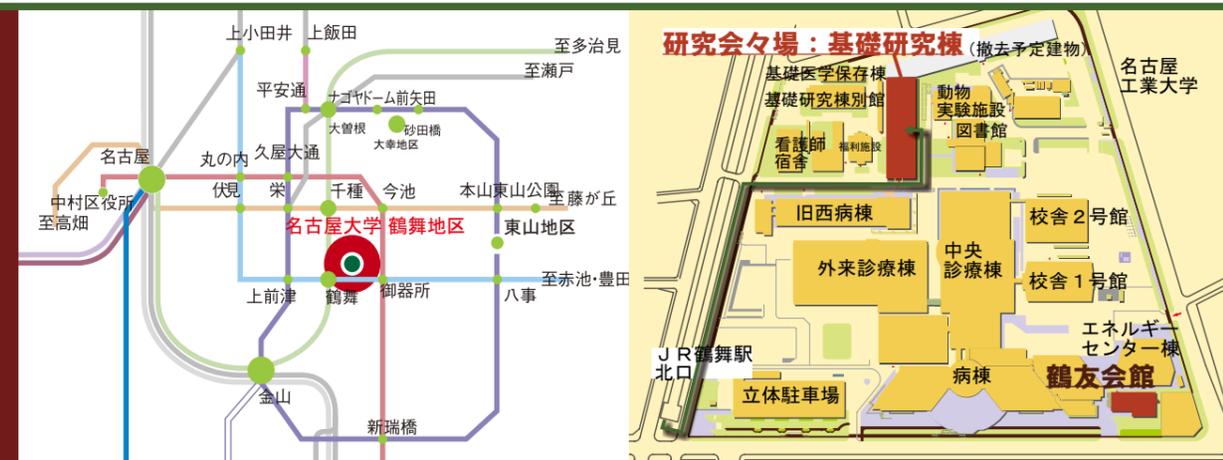
申し込み・問い合わせ先

名古屋大学 予防・早期医療創成センター
URL <http://www.pme.coe.nagoya-u.ac.jp/>

〒464-8603 名古屋市千種区不老町
名古屋大学赤崎記念研究館4F
TEL・FAX:(052) 789-5499
E-mail:'PME事務室 柴原'
kou-kyoten@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

【アクセス】

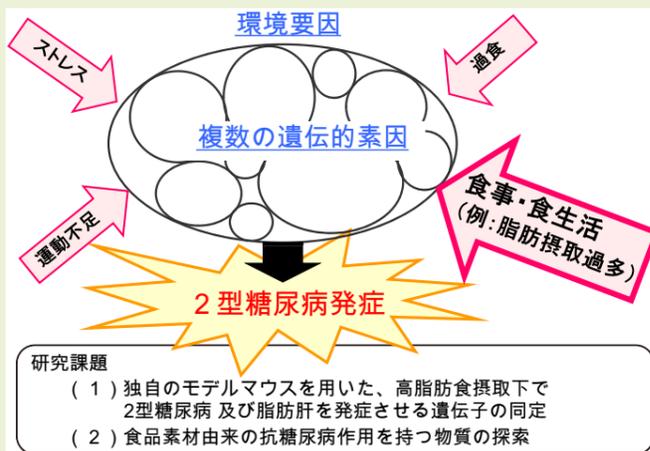
JR中央線鶴舞
駅北口(名大病
院口側)下車
徒歩3分
地下鉄(鶴舞線)
鶴舞駅下車
徒歩8分



講演 1 モデル動物を用いた2型糖尿病の遺伝因子と食事因子の解析

名古屋大学大学院生命農学研究科
 応用分子生命科学専攻 動物栄養情報学研究分野 教授 堀尾 文彦(ほりお ふみひこ)

2型糖尿病は、遺伝因子と環境因子が作用しあって発症し、環境因子の中でも脂肪摂取過多は強い危険因子である。我々は、モデル動物を用いた遺伝解析法を使って、高脂肪食摂取と相互作用して2型糖尿病・脂肪肝を発症させる遺伝子の同定を進めている。また、食品素材由来の抗糖尿病物質の探索も行なっている。これらの成果について紹介したい。

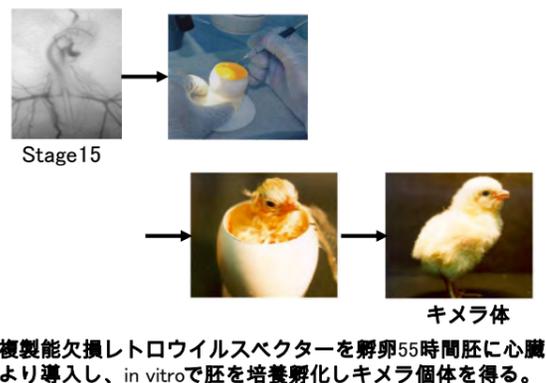


講演 2 遺伝子導入ニワトリ～工学部におけるバイオテクノロジー

名古屋大学大学院 工学研究科
 化学・生物工学専攻 生物機能工学分野 教授 飯島 信司(いじま しんじ)

20年程前より工学部にも生物系の講座が続々誕生し、出口の産業として医薬をターゲットとしているグループも多い。このような動きの中で、名古屋大学においても生物機能工学科が20数年前に新設された。私の講座では医薬品の卵への生産を目的としたトランスジェニックニワトリの開発や、多くの病態が炎症を伴うことから、抗炎症を想定した自然免疫の研究を行っている。そこで、私の講座を例に工学部におけるバイオテクノロジー研究の現状を紹介する。

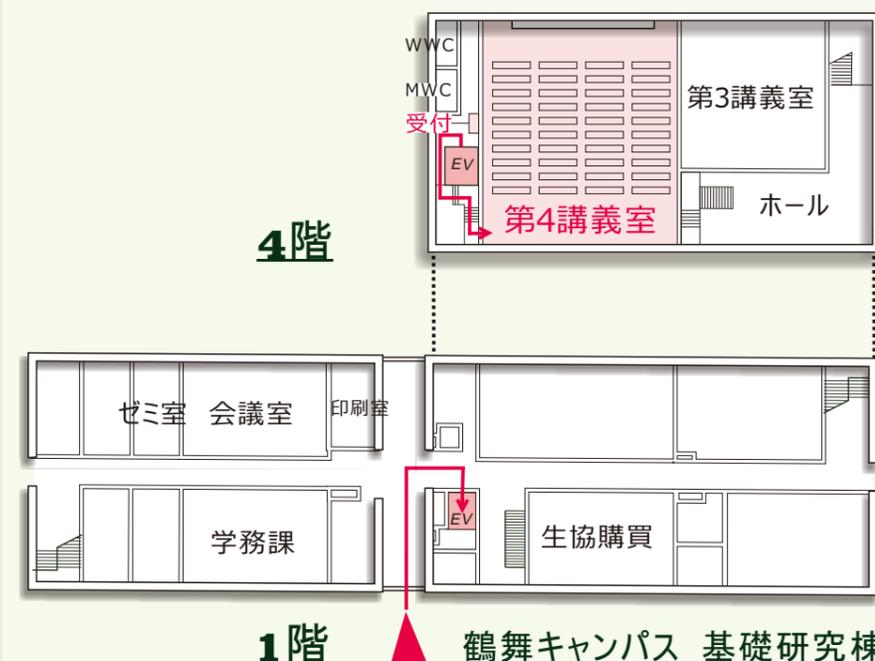
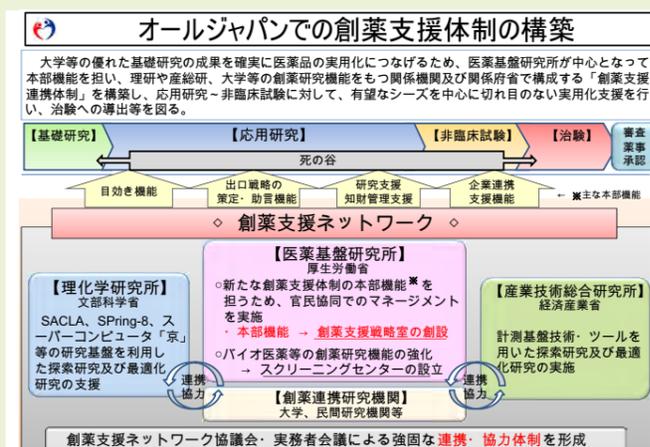
トランスジェニックニワトリの作製



講演 3 国による創薬支援体制構築と「日本版NIH」に関する検討状況

厚生労働省 大臣官房厚生科学課 研究企画官 中山 智紀(なかやま ともり)氏

本年6月に閣議決定された日本再興戦略等では、革新的医薬品の実用化のため、医薬基盤研に本年設置した創薬支援戦略室が本部機能を担う創薬支援ネットワークを「日本版NIH」の創設に先行して構築することとされている。その取組の状況と「日本版NIH」に関する検討状況を報告する。



研究会々場第4講義室へは、矢印に沿って4階にお進み下さい。
 意見交換会は、別棟(鶴友会館1階 レストラン鶴友)です。
 会場は、パンフレット表紙右下地図をご覧ください



【予防早期医療創成センターのご案内】

Innovative Research Center for Preventive Medical Engineering

- 名古屋大学では、予防早期医療に関わる広範で複合的な研究課題に対し、医工等分野を超えた連携や産学官の連携により、融合研究に取り組む拠点として「名古屋大学 予防早期医療創成センター」を設置致しました。
- 異分野・異業種が集う研究拠点で、予防早期医療に関する新しい価値を創造することを目的に、「健康から疾病までのシームレスなケアシステム」により、「蓄積した“個人”の健康・医療情報」から“個人”に最適な予防や早期医療を行う」為の研究を実施しております。
- 当センターでは、融合研究を刺激しより発展させるような契機として、定期的な研究会を開催しております。どなたでもご参加頂けます。新たな情報収集や、協働研究の契機として、多くの方のご参加をお待ちしております。
- センターに関するご質問・ご相談は、下記まで御連絡下さい。
 名古屋大学 東山キャンパス 赤崎記念研究館4階(右地図参照)
 TEL・FAX:(052) 789-5499 kou-kyoten@post.jimu.nagoya-u.ac.jp

